

研究分野		授業科目名					科目責任者
組織培養・免疫系分野		分子血管・血圧制御学特論Ⅱ					柏原 直樹
開講年次		共通／専攻／選択			単位数		
1,2		選択			2		
目的							
腎生検組織診断の技術と判断を習得する。							
授業到達目標							
(1) 腎生検組織診断：蛍光顕微鏡所見，光学顕微鏡所見，電子顕微鏡所見が解読できる。 (2) 蛍光組織診断のための組織切片の作製，免疫染色，写真撮影の技法を習得できる。 (3) 臨床データと合わせて組織診断が解釈できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	火	17:00-18:00	佐々木 環	講義	[抄読会] [症例検討会]	腎生検組織診断：蛍光顕微鏡所見，光学顕微鏡所見，電子顕微鏡所見の解読の実際を演習する。 [場所:本館棟 10 階南カンファレンス室]
2	毎週	火	18:00-19:00	山内 佑	講義	[抄読会]	臨床データからの腎生検前診断方法について解説する。 [場所:本館棟 10 階南カンファレンス室]
評価方法							
(1) 1年間※で，講義は 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。 (2) 1年間※で，論文紹介または症例発表を 2 回行い，その要約 2 編を提出する。 ただし，特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものと異なる論文（症例）であること。 ※ 2 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。42・43 頁：単位履修方法参照。							
課題（レポート等）に対するフィードバック							
腎生検所見報告書について，添削して返却する。							
教科書							
ISBN-9784885631986，腎生検病理アトラス，日本腎臓学会・腎病理診断標準化委員会，日本腎病理協会（編集），東京医学社，2010							
参考書							
ISBN-9781416061939，Brenner & Rector's the kidney (9th Edition)，Maarten W. Taal, et al., Saunders, 2011							
準備学習（予習・復習等）							
(1) 大学院生は腎生検症例の蛍光抗体検査の実施，所見つけを担当する。 (2) カンファレンス前にこれを実施（予習）し，当日はこの内容を参加者に説明する。 (3) 当日の議論をふまえて，必要があれば再度，特殊検査等も加えて約 1 時間程度再検討を行う（復習）。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。							
注意事項・メッセージ							
腎臓構成細胞のそれぞれの特徴を把握し，病態における細胞得意的な対応変化を理解することを目的とする。							